

**CASBEE-新築(簡易版)2008年版**

(仮称)丸亀運給米子東第2配送センター新築工事

欄にコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

**スコアシート 実施設計段階**

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>C 建築物の環境品質</b>						<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>			<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.9</b>	<b>0.15</b>			<b>2.9</b>
1.1 騒音		<b>4.0</b>	<b>0.40</b>			
1 暗騒音レベル	天井を吸音性の高い材料とし設備は低騒音型を採用	<b>4.0</b>	<b>1.00</b>			
騒音騒音対策						
1.2 遮音		<b>1.8</b>	<b>0.40</b>			
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	<b>0.60</b>			
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>				
1.3 吸音		<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.7</b>	<b>0.35</b>			<b>2.7</b>
2.1 室温制御		<b>3.3</b>	<b>0.50</b>			
1 室温設定	各居室ごとの空調系統としている	<b>3.0</b>	<b>0.38</b>			
熱源設備・運転制御						
3 外皮性能		<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			
4 ゾーン別制御性		<b>4.0</b>	<b>0.38</b>			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 昼光率		<b>3.0</b>	<b>0.60</b>			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
遮光器具の設置						
2 昼光制御		<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
3.3 照度		<b>3.0</b>	<b>0.15</b>			
1 照度		<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
照度均斉度						
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.8</b>	<b>0.25</b>			<b>3.8</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	<b>0.50</b>			
1 化学汚染物質	床、壁、天井は全てF☆☆☆☆	<b>4.0</b>	<b>1.00</b>			
4.2 換気		<b>4.0</b>	<b>0.30</b>			
1 換気量	1.2倍とする	<b>4.0</b>	<b>0.33</b>			
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
3 取り入れ外気への配慮	給気と排気を反対方向に設けている	<b>5.0</b>	<b>0.33</b>			
4 給気対策						
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>1.0</b>	<b>0.50</b>			
2 喫煙の制御	喫煙室の以外での禁煙	<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>2.6</b>	<b>0.60</b>			
1 広さ・収納性	10m <sup>2</sup> /人を確保	<b>4.0</b>	<b>0.33</b>			
2 高度情報通信設備対応		<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
1.2 心理性・快適性		<b>3.6</b>	<b>0.40</b>			
1 広さ感・景観	天井高さ2.7m、全ての部屋に窓を設置	<b>4.0</b>	<b>0.33</b>			
2 リフレッシュスペース	喫煙室を独立した部屋とし受動喫煙ないように設置	<b>4.0</b>	<b>0.33</b>			
3 内装計画		<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	<b>0.31</b>			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	<b>0.48</b>			
1 耐震性		<b>3.0</b>	<b>0.80</b>			
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.8</b>	<b>0.33</b>			
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	<b>0.23</b>			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	重歩行等に配慮	<b>2.0</b>	<b>0.23</b>			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>4.0</b>	<b>0.09</b>			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	<b>0.08</b>			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		<b>3.0</b>	<b>0.15</b>			
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	<b>0.23</b>			

<b>2.4 信頼性</b>			3.6	0.19	-	-
1	空調・換気設備	系統毎に分散	3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法	支持材及び間隔を考慮	4.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	IFLをGL+1000とし、空配管を設け各通信情報設備に対応している	4.0	0.20	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			4.4	0.29	-	4.4
<b>3.1 空間のゆとり</b>			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	事務部門も階高さ6.1mとし更新等に配慮	5.0	0.60	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.06	5.0	0.40	-	-
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		14,700N/m <sup>2</sup>	5.0	0.31	-	-
<b>3.3 設備の更新性</b>			3.5	0.38	-	-
1	空調配管の更新性	天井内スペースを十分確保	4.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性	配管ピット等配慮	4.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性	空配管を設け配線の更新性を考慮している	5.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.40	-	2.2
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			1.0	0.30	-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			3.0	0.40	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	3.7
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	3.8
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			3.0	0.29	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		省エネ型照明器具を使用している ERR=52.8	5.0	0.43	-	5.0
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.29	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	3.8
<b>1 水資源保護</b>			3.0	0.15	-	3.0
<b>1.1 節水</b>			3.0	0.40	-	-
<b>1.2 雨水利用・雑排水再利用</b>			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			3.0	0.63	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎に高炉セメントを採用	4.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床材、壁紙にエコマーク商品を採用	4.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	解体分別が容易な設計としている	5.0	0.25	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			4.3	0.22	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	塗料、接着剤は有害物質を含まない材料を採用	5.0	0.32	-	-
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			4.0	0.68	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	断熱材	発泡断熱材を用いていない	5.0	0.50	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	3.6
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			4.5	0.33	-	4.5
<b>2 地域環境への配慮</b>			3.0	0.33	-	3.0
<b>2.1 大気汚染防止</b>		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			2.0	0.50	-	-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	敷地外への駐車、荷捌きの影響は一切なし	5.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			3.1	0.33	-	3.1
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
<b>3.2 風害、日照阻害の抑制</b>			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
<b>3.3 光害の抑制</b>			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	外灯上方光束比0%、屋外公告照明なし	4.0	0.70	-	-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-